

保育おおさか

No. 461

平成 26 年 1 月 1 日

発行人 永野 治男 編集人 齊藤 和正

大阪市中央区中寺 1 丁目 1-54

TEL.06-6762-9001 FAX.06-6768-2426

<http://www.ans.co.jp/u/osakahoiku/>



地域に必要とされる存在意義 より一層の取り組み強める年

保育部会長 永野 治男



新年あけましておめでとうございます。

子ども・子育て支援新制度の平成27年施行に向け、今年中には、新制度における「公定価格」「保育の必要性の認定基準」「認可基準」などの骨格が示される予定です。

各園におかれましては、本年中にさまざまな選択を行うこととなりますが、会員の皆様が正確な情報をキャッチし、適切な選択ができるよう、保育部会として迅速な情報提供等に努めてまいります。

また、昨年は規制改革会議などを始め、国の会議において、社会福祉法人の透明性の確保や社会福祉法人のあり方や存在意義に対する厳しい指摘がありました。

た。

こういった状況の中、「地域貢献事業」のより一層の取り組み強化が重要となります。

保育部会では昨年、地域貢献事業をより発展させるため、知事認定を受けたスマイルサポーターを対象に、ブロックごとにフォー

地域のすべての子どもたち 一人ひとりに豊かな育ちを

大阪府保育士会長 高田 テルミ



新年あけましておめでとうございます。

今年度の事業は、園長先生のご理解とご協力をいただき、多くの保育士と関係者に支えられ、実施させていただいております。

近年、保育園は地域の子

ローアップ研修会を開催しました。また、全種別部会参画の総合生活相談事業である「オール大阪の社会貢献事業」の実施に向けた検討を始めました。

より地域に必要とされる法人・施設として、各園がその存在意義を積極的に発揮できるよう、本年もご協力をお願いいたします。

結びに、皆様のご健勝とさらなるご発展を心よりお祈りし、新年の挨拶いたします。

変わりはありません。

また私たちは、園に通う子どもだけでなく、地域にいる全ての子どもが、一人ひとり豊かな育ちができるように支えていかなければなりません。

大阪府保育士会は保育士の専門性の向上、地域の子育て家庭への支援が行えるよう、本年も保育士が日々研鑽できるよう、研修会等を企画してまいります。

本年も昨年と変わらず大阪府保育士会にご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

子どもの成長・自立に つなげる支援施策を

大阪府福祉部子ども室長 三ツ石 浩幸

謹んで新年のお慶びを申し上げます。旧年中は、大阪府社会福祉協議会保育部会の皆様方には、本府保育行政のみならず、児童福祉行政全般の推進にご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

皆様もよくご承知のとおり、子ども・子育て関連3法に基づく子ども・子育て支援新制度について、平成

27年4月の施行に向け、現在、国においてさまざまな具体的検討・議論がなされています。

本府におきましても、平成27年度からの子どものための総合的な計画の策定を目指し、昨年から、大阪府子ども施策審議会において、民間保育園の代表として保育部会からも参画いただきながら、基本的な目標や方向性などを議論しているところです。

子どもは次代を担う宝であり、多くの人に支えられながら夢を持って成長することが私たちの願いであります。一方、子どもを取り巻く状況が厳しくなる中、子どもを育む家庭を支援し、家庭への支援が子どもの成長・自立につながる

施策が必要であると考えています。今後とも、子育てを大阪全体で支える社会づくりを目指して参りますので、皆様方の一層のご理解、ご協力を賜りますようお願いいたします。

末尾になりましたが、皆様方の本年のご発展とご活躍を心からお祈り申し上げます。

市町村と連携し 新制度に対応

大阪府福祉部子ども室 子育て支援課長 森田 正典

新年あけましておめでとうございます。本年は、新制度にかかる議論が本格化し、さまざまな基準や公定価格などが示されていくなど、新制度移行への重要な一年であると身の引き締まる思いです。

これまで、保育部会の皆様方のご協力を得て、保育の量的拡大と質の向上など保育の充実に取り組んできましたが、引き続き、国の動向を確実に把握し、新制度に向けて市町村と連携して取り組みを進めて参ります。

今後とも、皆様方と手を携え、子どもたちや保護者にとつてよりよい保育の実現のため努めてまいりますので、ご支援・ご協力をお願いいたします。

本年が皆様方にとって実り多い年となりますことを祈念いたします。

児童福祉の実践と情熱もって

北摂ブロック保育部会 武内 慎吾

国の議論の行方を注視しつつ、子育ての未来に良い制度構築を期待します。社会福祉法人のあり方に関しても規制改革会議などで厳しく議論されており、情報開示と社会貢

な情報をいち早く伝え、会員の皆様の正しい判断に資するよう努めます。

巳年の昨年は古い体制から脱皮する年でしたが、午年の26年は、揺れ動く情勢の中を駆け抜けていけることを願っております。本年もよろしくお願ひします。

子どもの発達・学びに焦点あてた改革を

北大阪ブロック会 東口 房正

アベノミクスが効果を表した感のある昨今ではありますが、発電の燃料費高騰によって少し打ち消されたようです。消費税増税による景気停滞が気になるものの、これまで議論されてきた

保育制度が変わります。

急速な少子高齢化が後押ししたとはいえ、最初の改革案が出てから、20年が過ぎ去りました。

とりあえずは就労支援が表面に出ています、ある程度道筋が見えた時

に、子どもの発達や学びに焦点を当てなければ、正しい改革にはなりません。

皆様方におかれましては、行政とともに制度を作り上げていくという姿勢をもって、ご協力とご支援を賜りますよう、本年もよろしくお願ひ申し上げます。

健やかな育ちの手助けに変わりなし

河内ブロック会 浅井 孝男

子ども・子育て関連3法に伴う地方版「子ども・子育て会議」も設置され、本格的な事業計画の策定に向けて動いています。

保育園として残るのか、子ども園として新しくスタートするのが迫られています。

子どもを保育し健やかに

子どもを保育し健やかに

ブロック長からの年賀状

力漲る新しい年のスタートに

南大阪ブロック民間保育園連盟 中島 一

京都の有名寺院の紅葉ライトアップ、神戸のルミナリエ、大阪ひかりのルネッサンス、大阪城3Dイルミネーションなど、各地で盛り上がった光の祭典も終わった頃、園で

地域に信頼される園めざして

堺市民間保育園連盟 池尾 弘久

昨年は、子ども・子育て関連3法の詳細が決まり、新たな気持ちで新年を迎える予定でしたが、詳細は決まらず、26年度はバタバタの中で、「こども園」になる園、保育所のまま経営する園と別れ

地域貢献事業を今年も積極的に

泉州民間保育園協議会 田中 正清

昨年は安定政権が樹立され、日本経済も上向いてきたと言われていますが、庶民の生活が豊かになった実感はないと思います。保育園にも処遇改善費加算が付きましたが、年



至から太陽エネルギーを身体に吸収、力が漲り始める迎春は、新年度に備えた絶好のスタート地点だと思っています。

今年も、力不足ながらも、皆様の力をお借りし、ブロック運営に力を注いでまいりますので、よろしくお願ひいたします。

私たちの地域がいつそうなるかわかりませんが、国の制度が変わっても、保育を必要としている子どもたちは無くなりません。私たちの仕事は、世の中に必要とされています。今年も、地域で子どもたちの保護者から信頼される園になるために頑張ります。

社会福祉法人に対して非常に厳しい目が向けられています。社会に還元し、社会に貢献することが社会福祉法人の使命です。保育園の地域貢献事業を今年も積極的に進めて参りたいと考えております。

音楽・体育・絵画・英語… さまざまな体験、一人ひとりが成長

野菜を育て収穫する喜び体験
元気の源は体力づくり

八尾市

あひる保育園



四季折々の自然に囲まれた保育園



元気一杯で笑顔に向けてくれた子どもたち

あ ひる保育園は開園35周年。近鉄大阪線高安駅から徒歩15分ほど。近くの公園へお散歩に出かけても、四季折々、変化にとんだ移り変わりを感ずることが出来ます。春になれば玉串川の桜並木のお花見も楽しめるなど、とてもよい環境に恵まれています。

設立当初からの保育方針「たのしくてたまらない保育園」に基づいて、「進んでやる子、仲よく明るい子、強い子」を目標に、子どもたち一人ひとりの可能性の芽を引き出せるよう、すべての職員が日々の保育に精一杯取り組まれています。

また体力づくりのために、薄着の習慣、はだし保育、乾布まきつ、マラソンなどにも日々取り組んでおられます。そのためか毎日、保育室からは元気な声が響きわたり、笑顔がいっぱいです。

そんな子どもたちの姿を

見て藤井一理事長は、「子どもたちの生き生きとした成長を大切に、これからも保育していききたいと思えます」と、目を細め、うれしそうに話されていました。

(編集委員 C・T)



保育園を たずねて

485



緑 一面の田畑に囲まれた、しいの実保育園は創立33年。待機児童解消に対応して行った建て替え工事でも昨年終了し、新しくなった保育室と園庭には元気一杯の子どもたちの声が響いています。

創立以来、子どもたちを見守り続け、「子どもは遊ぶのが仕事」と言い続けてこられた初代園長の言葉を守り、子どもたちの笑顔に支えられ、職員一同、のびのびとした遊びを大切にしたい保育に取り組んでおられます。

「やさしい気持ち」「素直な心」「強い体」をモットーに、子どもたちが心身ともに、のびのびとすごせるように配慮された保育が行われています。

体育、音楽、習字の指導に専門講師を招き、その成果を運動会、発表会、作品展などの各行事で披露しています。

運動会では、5歳児クラスが全員一丸となって「ピラミッドタワー」に挑戦し、発表会では合奏、作品展では毛筆・硬筆の作品作りなど、積極的に取り組んでいます。

日々の生活の中では、「どんなことでもやってみる」「どんな体験してみる」「失敗しても、また挑戦して



明るい入り口

「子どもは遊ぶのが仕事」 心身ともにのびのびと 挑戦する積極的な気持ち大切に 喜怒哀楽を体験できる保育

阪南市

しいの実保育園



のびのび遊べる園庭

(編集委員 Y・S)



リスクマネジメント
わが園の取り組み

人材育成と 意思疎通の向上

忍ヶ丘愛育園 四條畷市

今月号から新たなテーマとして「リスクマネジメント」わが園の取り組み」を連載してまいります。今回は忍ヶ丘愛育園を取材し、新園を立ちあげた際の取り組みを紹介いたします。

そうです。

「初期、新たに採用したのは、全員が経験保育士。初年度の課題は、建物や園児の行動に対するチェックでした」と、古賀真智子園長は言います。経験豊富な保育士が多数いても、新園舎や設備に対応するには時間がかかります。新園舎はドアなどに大量の木材を使用しており重く、ササクレなどの危険もあります。

窓の高さ確認やドアの指づめ防止クッションの設置など、細かく対策を行った

園での取り組み

①ヒヤリハット報告書

記入して回覧。大きなけ



図2 ヒヤリハット報告書

成。保育部会「保育サービス標準化セミナー」を受講し、それまでの研究を突き合わせ、マニュアルの整備と同時に、専門委員会、会議の設置の必要性を痛感。

③避難訓練

月1回の訓練と、消防署と連携した年2回の総合避難訓練。

④給食アレルギー会議

該当クラスの担任・看護師・給食会社の三者で月1回開催。アレルギー児やその内容については職員会議・朝のミーティングなどで職員に周知徹底。

⑤遊具点検(月1回)

新しいものを導入した際、扱い方などのルールを決める会議を開く。

⑥遊具・玩具の使用ルール

「最後は、人の教育と訓練につきますね。危機管理とは人材育成と保育士同士の意思疎通の向上にあるのではないかと思います」と古賀園長。この点で取材者と意見が一致しました。

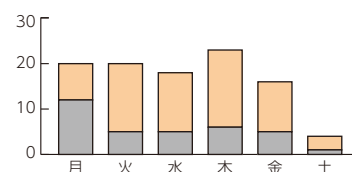
(編集委員J・H)

図1 平成24年度病欠統計 H24年4月～11月末時点(延べ人数)

(例1) 園内のけがの状況

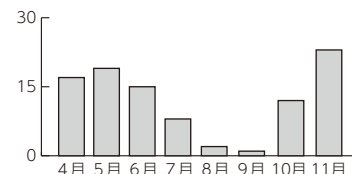
1. 曜日別統計

■：午前
■：午後



2. 月別統計

・トレーニング中のけがが多かった。
・廊下、出入り口で、出合頭にぶつかる事例も多く見られた。



(例2) 感染症の発生病件数統計より[グラフ省略]

《考察》

季節により変動はあるが、グラフから、ほぼ毎日、感染の機会があると考えてもいいのではないかと。[以下省略]

《まとめ》

感染予防の対策をとるといっても、正しく行わなければ効果が無いので感染症についての基礎知識も含めて勉強会などを始めていきたいと考える。[以下省略]



へちまの写真をたくさんお送りいただき、ありがとうございました。特に大きく育った写真を掲載します。



▲つくし保育園
高橋さん



▼摂津ひかり保育園
日野さん



▲はるか保育園
好川さん

北大阪

保育経営と新制度

―年末研修会・懇親会

12月11日、ホテルモントレ・スール大阪で開催の年末研修会で、吉田正幸氏（㈲遊育代表取締役兼発行人・㈲保育システム研究所代表）が「保育経営から見た

た新制度への対応・移行」のテーマで講演。新制度の最新動向を踏まえ、私立保育園の役割と課題をわかりやすく説明されました。

保育需要の変化、地域格差が顕在化する中、利用者から選ばれる園・選ばれない園が明確になる。10年・20年先を見据え、職員の確保と保育内容の充実を図るこ



吉田正幸氏

とが大切。本質を捉え、的確な判断と見通しを持つことの重要性を学びました。講師の吉田氏のほか、亀井信昭保育部会副部会長、ブロック内7市の行政担当主管の皆様が参加された懇親会でも、保育情勢や課題

河内

感染症とエビ・ペン対応

―八尾私立保育士会研修

11月13日、24園の園長・保育士100人余が参加。東孝氏（あずまこども診療所院長）が「保育と感染症」

のテーマで講義。東氏が、保育園の嘱託医ということもあり、子どもたちの姿をイメージしつつ、理解しやすい内容でした。

手指消毒など感染症拡散防止の具体的方法、薬品の特徴と適切な使用方法などを説明。増加傾向の食物アレルギーを持つ子どもへの「エビ・ペン対応」の実技では、練習用トレーニングが一人1本ずつ準備され、正しい使用方法の講習。意外と力が必要なことを実感しました。

発生時期だけが書かれた一覧表を示し、どの感染症かを一人ひとりに問い、適切な回答には「褒めことば」答えるにこった人には



熱心に聞きいる参加者

アドバイスト、緊張感ある研修会でした。インフルエンザについてもしっかりと学ぶことができました。意見書の発行について、医師の立場と保育園の思いを重ね合わせた考え方を聞きながら、園児の健やかな育ちにつながる保育に活かすべきとの思いを強くしました。

（龍華保育園Y・T）

旬

次世代に繋ぐ和食が世界無形文化遺産に
財務諸表公開、来年度から義務化

「税金を使って事業をするのに、国民に報告するのが当たり前！」というのが政府の規制改革会議の論法。社会福祉法人の財務諸表の公開促進に始まり、数法人（介護施設運営が主）の財務諸表を例示し、剰余金を利益ととらまえ、「企業と比較して税金が払えるではないか」的な意見が飛び交っています。財務諸表の公開が来年度から義務付けられます。

私たち保育園は今、待機児解消で定員プラスを行政から促されて、剰余金が発生したら、ほら！残るやないか？事業税に加えて固定資産税まで払え（！！）的なことになれば、現状では大都市の地価の高い所では、経営

スに培われた食文化が。季節の移ろいを表し、次世代に繋ぐ食文化など、伝統的なものが評価された。地元で晩秋の災害研修会に参加した。近年バス旅行からはしばらく離れていたが、車内で配

なったことも大変嬉しい。私も若い頃、ブロック担当の研修会の世話係を再々経験した。中でも気を遣うのは宿の部屋割り。いびきの横綱にはいびきの大関、飲み助ばかりを集めると隣の部屋の冷蔵庫のビールが

物事のとりまえ方、如何に強い志を持つか、先人の足跡や成功者の信念…等々が記されている。是非ネットにアタックし、日々の指針にされたら如何でしょうか。

（H・N）

スマイルサポーター
フォローアップ
研修会開催

【北大阪ブロック】

日時：1月22日（水）15時～17時
会場：交野市ゆうゆうセンター 4階 多目的ホール

【北摂ブロック】

日時：1月24日（金）14時～16時
会場：ルシオーレ 6階 教育センター

他ブロックからご参加を希望される方、研修内容を知りたい方は、事務局までお問い合わせください。

（06-6762-9001）